

令和8年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区 分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	17,797,627千円	11,943,100千円	49.0%
一般会計構成比	0.7%	0.5%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

Ⅱ 主な新規事業及び重要施策

1 県民の暮らしの安心確保

P 4		防犯のまちづくりの更なる推進	【防犯・交通安全課】	37,800
P 5	一部新規	消費者被害対策の推進	【消費生活課】	95,002
P 6		バーチャルユースセンターの運営	【青少年課】	26,835

2 人生100年を見据えたシニア活躍の推進

P 7		埼玉未来大学による地域社会活動の担い手育成	【共助社会づくり課】	113,296
-----	--	-----------------------	------------	---------

3 誰もが活躍し共に生きる社会の実現

P 8	新規	男性DV被害者への支援の促進	【人権・男女共同参画課】	9,356
-----	----	----------------	--------------	-------

4 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

P 9		地域日本語教育の体制整備を通じた多文化共生の推進	【国際課】	14,102
P 10	一部新規	「彩の国だより」等による情報発信	【広報課】	296,286
P 11		文化芸術の振興	【文化振興課】	113,361
P 12		屋内50m水泳場の整備	【スポーツ振興課】	9,801,876
P 13		スポーツ科学拠点施設の整備	【スポーツ振興課】	66,602

担当 防犯・交通安全課 防犯・犯罪被害者支援担当
 内線 2942、2940

目的

「埼玉県防犯のまちづくり推進計画」に基づき、防犯のまちづくりを更に推進して安全・安心の確保を図る。

事業概要

1 防犯のまちづくりの更なる推進

37,800千円

(1) 市町村と連携した防犯対策の推進 37,800千円

犯罪の抑止・検挙に有効な防犯カメラの整備、多発する特殊詐欺の被害防止に有効な特殊詐欺対策機器の普及促進及び自主防犯活動活性化のため自主防犯活動団体へ支援を行う市町村に対し補助金を交付することにより、地域における効果的な防犯対策を促進する。特に、防犯カメラについては犯罪抑止重点地域（※）への設置を優先的に支援する。

【補助対象事業】

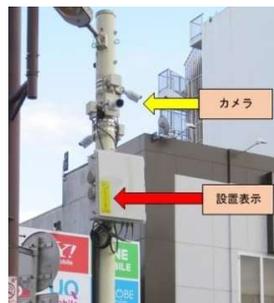
- ① 公共空間への防犯カメラ整備事業
- ② 特殊詐欺対策機器の普及促進事業
- ③ 自主防犯活動支援事業
 （自主防犯活動団体へのパトロール用品提供等）

※犯罪抑止重点地域

県警察が公開する窃盗7手口（ひったくり、車上ねらい、部品ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗、オートバイ盗及び自転車盗）の認知件数が年間5件以上の町字地域

【補助率等】

- 原則 補助率 1／3以内 補助上限額 400万円／市町村
- 優遇措置 ① 犯罪抑止重点地域への防犯カメラ整備 補助率 1／2以内
 ② 財政力が低い市町村における犯罪抑止重点地域以外の地域への防犯カメラ整備 補助率 1／2以内



街頭防犯カメラ
 出典:埼玉県警察HP



特殊詐欺対策機器



自主防犯活動の
 パトロール用品

一部新規

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2935

目的

消費者の安心・安全を確保するため、県・市町村の消費生活相談体制の充実・強化を図るとともに、消費者啓発の推進や悪質事業者に対する行政指導・処分を行う。

事業概要

1 生活科学センターのリニューアル

55,500千円

(1) 調査・設計業務 (新規) 55,014千円

- ・生活科学センターの学習機能強化を図るための施設リニューアルに係る調査・設計
- ・令和8年度にリニューアルにかかる調査・設計を実施し、令和9年度に改修工事、令和10年度にリニューアルオープンを予定

(2) 認知度アップイベント (新規) 486千円

- ・生活科学センターの認知度を高めるためのイベントの実施



リニューアルイメージ

2 消費生活相談体制の支援

39,502千円

(1) 消費生活相談のDX化 20,770千円

- ・令和7年度に消費生活支援センターに導入したボイスボット（音声自動応答システムによる受付）の利便性向上に向けた取組

(2) 市町村消費生活相談体制の支援 15,000千円

- ・市町村相談窓口のDX化・広域化等に向けた支援・推進
- ・消費者安全確保地域協議会の設置・活用促進
- ・消費者被害防止サポーターの育成・活動支援

(3) 県内消費生活相談体制の維持 3,732千円

- ・専門家との連携体制の構築、研修体制の確保による相談員業務の支援



消費者被害防止サポーターによる活動風景

担当 青少年課 企画・非行防止担当
内線 2911

目的

あらゆるこども・若者に身近な居場所があり、気軽に他者に相談し、生き生きと活躍している社会を目指す。

事業概要

1 バーチャルユースセンターの運営

26,835千円

(1) バーチャルユースセンター事業

26,835千円

- ・「バーチャル埼玉」を利用して、小学生から大学生程度までのあらゆるこども・若者が安心して気軽に交流し、相談ができる居場所「バーチャルユースセンター」を運営する。



バーチャルユースセンター

バーチャルユースセンター @バーチャル埼玉

ネット予約



交流支援

メタバースにおけるこども・若者の居場所

- 誰でも自由に気軽に入退室ができる。
 - 目的や成果が求められない余暇活動の場で、利用者が共感や自己表現を図ることができる。
 - スタッフとの信頼関係があり、スタッフに会うことができる。
- * 自由な交流の他、交流プログラム（テーマトーク、謎解き等）の実施



相談支援

- 悩み・生きづらさを抱えたこども・若者の相談対応

* 個室空間での相談も可（事前予約制）



オフ会

体験・交流等



相互連携
(つなぎ)

専門支援機関等

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|--------|-------------------|
| 居場所@リアル | スポーツ | ワークショップ | 芸術体験 | 農業体験 | 就労体験 | 生活困窮 | 非行克服 | 就労支援 | 発達障害 | ひきこもり | 不登校 | こころの悩み | その他(孤独・孤立PF参加団体等) |
|---------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|--------|-------------------|

県庁内外の様々な資源・取組を活用

担当 共助社会づくり課 活動支援担当
内線 2819

目的

(公財) いきいき埼玉が実施する「埼玉未来大学」において、50歳以上の県民の「学び直し」と「再チャレンジ」を応援するとともに、元気なシニアなどが地域の担い手として活躍できるよう支援を行う。

事業概要

1 埼玉未来大学による地域社会活動の担い手育成 113,296千円

(1) ライフデザイン科 6,477千円

シニアライフを安心して暮らすための知識や健康習慣を楽しく身につけるほか、セカンドステージにおいて地域社会活動に参加するきっかけづくりを行うカリキュラムを提供

(2) 地域創造科 36,039千円

・NPOやソーシャルビジネスの立上げ、運営などに関する専門的なカリキュラムを提供

新規・拡充内容

➤ 専門学科の再編成【拡充】

シニアの受講ニーズ等を踏まえ、空き家の活用や子どもの居場所づくりなど地域の課題解決に直結する活動を専門的・実践的に学ぶ専門学科を再編成

(3) シニアの意識変容とリスクリング体験 2,135千円

シニア層の地域社会活動への関心を喚起し、活動参加へのきっかけをつくる無料のオンラインセミナーや講座を配信

(4) 岩槻高齢者講習センターにおける社会参加・健康づくり事業 21,280千円

埼玉未来大学のコンテンツを活用した運動機能測定、健康長寿や地域社会活動参加に関する講座の放映等を実施

(5) 埼玉未来大学運営 47,365千円

・地域社会活動の担い手育成のため、埼玉未来大学の運営を支援



埼玉未来大学の学習風景



フィールドワークの様子



オンライン学習(イメージ)

新規

担当 人権・男女共同参画課 困難女性支援推進担当
内線 2923

目的

DV（配偶者等からの暴力）の被害を受ける男性向けの対策を実施し、性別に関係なくDV被害の支援を受けられるようにする。

事業概要

1 男性DV被害者への支援の促進

9,356千円

(1) 男性DV専用相談窓口の設置 **(新規)** 3,097千円

男女共同参画推進センター（WithYouさいたま）に、男性DV被害者専用の電話相談窓口を設置する。

【実施内容】

- ・男性DV被害解決に向けた助言
- ・支援機関の紹介

(2) 性別を問わないDV被害及び相談窓口の周知 **(新規)** 2,043千円

DV被害は性別を問わないことを周知し、あわせて相談に抵抗を感じる男性に相談を促す。

- ・ウェブ広告等を活用
 - ・検索サイトで特定のワードを検索することに対応して、県の相談窓口の情報を表示
- ※上記のほか、他事業により下記について実施
- ・デジタルサイネージ広告の活用
 - ・啓発用ポスターの鉄道主要駅や公共施設等への掲示

(3) 市町村・民間団体への研修の実施 **(新規)** 282千円

市町村や民間団体の相談員・支援員向けに研修を実施する。

(4) 男性DV被害者への個別支援の実施 **(新規)** 2,722千円

男性DV被害者に対する下記の事業を実施する。

- ・法律相談
- ・心理カウンセリング
- ・緊急時における安全の確保等

(5) 加害者プログラムの実施 **(新規)** 1,212千円

被害者支援の一環として、加害者に働きかけることで加害者に自らの暴力の責任を自覚させるプログラムを実施する。

【加害者プログラムとは】

グループワーク等を通じ、DVによって被害者や子が受ける影響や、暴力のない関係、相手を尊重することなどについて学ぶ機会を提供する。



担当 国際課 多文化共生担当
内線 2715

目的

日本語学習を希望する外国人住民が居住地や環境を問わず、生活等に必要な日本語を地域で学べる環境を整備する。

事業概要

1 地域における日本語教育の推進 14,102千円

(1) 外国人住民の日本語学習支援体制の整備 9,102千円

①地域の日本語教室への支援

- ・地域の日本語教室で活動するボランティアを対象とした研修を実施
- ・日本語教室の開設や運営等の相談対応のために専門家を派遣

②生活に必要な日本語を学べるプログラムの開発・活用促進

- ・日本語教育の専門的な知見を活用して開発
- ・日本語教師を対象としたプログラム活用研修を実施
- ・市町村においてプログラムの実践が進むよう伴走支援 **【拡充】**

(2) 市町村の日本語教育の取組支援 5,000千円

県が開発した日本語教育プログラムを活用する市町村への財政支援



研修の様子

➤ 地域日本語教育の体制整備

日本語教育プログラムを活用する意欲のある市町村への支援を拡充し、日常生活に関する日本語学習が必要な外国人に日本語教育が届く体制を整備する。



一部新規

担当 広報課 テレビ・ラジオ・広報紙担当、企画調整・ウェブ担当
内線 2868、2830、2852

目 的

「彩の国だより」等、さまざまな方法で情報発信し、県民に対して県の情報を届ける。

事業概要

1 「彩の国だより」等による情報発信

296, 286千円

(1) 紙版の発行、WEB版の公開など 261, 955千円

「彩の国だより」紙版を新聞折込や公共施設等への配架で県民に届けるほか、WEB版でも公開し、県民がいつでもどこでも閲覧できる状況を整える。

〔紙版〕毎月1回発行

〔WEB版〕WEB版限定の深掘り記事、県広報アンバサダー作成の動画で県政等を紹介するなどWEB版を充実

〔インスタ版〕「彩の国だより」で紹介した記事を若者の視覚に訴える「映える」形で発信



令和7年6月号

(2) 「こども版 彩の国だより」の発行 (新規) 15, 049千円

「こども版 彩の国だより」を小学校等を通じて県内の全小学生に配布し、県の施策を分かりやすく届ける。また、アンケート等を活用して、県の施策についてのこどもの意見を聴く。

〔紙版〕年2回発行



(3) 「デジタルサイネージ」による県政情報の発信 (新規) 19, 282千円

商業施設や交通機関など、多くの人々が日常的に利用する場所のデジタルサイネージを活用し、県政情報が届きづらい若年・ファミリー層などに向け、県内外に広く発信する。

- ・各種デジタルサイネージ（電車内ビジョン、駅前大型ビジョン、コンビニ店内サイネージ）による広報及び効果検証

【駅前大型ビジョン】



【電車内ビジョン】



担当 文化振興課 総務・財団担当、文化創造・発信担当
内線 2878、2879

目的

彩の国さいたま芸術劇場や埼玉会館において、それぞれの特性を生かした多彩な公演を行うことを通じて、県民が優れた文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、共生社会の実現に寄与するための文化・芸術活動を推進する。

さらに、埼玉県文化アプリ「ぶんたま」の運用やプロモーションを行い、より多くの県民が伝統文化の鑑賞や体験に参加するきっかけとする。

事業概要

1 多彩な舞台芸術作品の提供

94,429千円

(1) 彩の国さいたま芸術劇場と埼玉会館における公演の実施 71,689千円

芸術劇場では、「シェイクスピア・シリーズ2nd」をはじめとした、芸術性の高い、多彩な作品を創造・発信し、埼玉会館では音楽公演を中心に良質で親しみやすい作品を提供

(2) 多様な世代・属性による芸術表現活動グループの取組 22,740千円

年齢や性別、国籍、障害の有無などにとらわれないシアターグループ「カンパニー・グランデ」によるスタジオワークの開催や公演を実施



カンパニー・グランデ
『花にまつわる考察』

2 伝統文化等の魅力発信・普及

18,932千円

(1) イベント情報・ギャラリー等の充実による魅力発信（WEBアプリ） 15,468千円

伝統文化の魅力やイベント情報を発信する埼玉県文化アプリ「ぶんたま」の保守・運用を行うとともに、音楽や演劇などのイベント情報を掲載できるようアプリの利便性向上に向けた改修を実施。

(2) 埼玉県文化アプリのプロモーション 3,464千円

より多くの方が伝統文化の鑑賞・体験に参加するきっかけとするため、アプリの利用促進を目的とした広報やイベントの展開に加え、県内伝統文化を紹介するオリジナルコンテンツを充実



埼玉県文化アプリ「ぶんたま」

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。また、1年を通して天候に左右されず誰もが水に親しむ環境を創出し、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進等を図る。令和8年度は令和9年3月の竣工に向け引き続き建設工事を進める。

事業概要

1 屋内50m水泳場整備運営事業の推進

9,801,876千円

(1) 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理 9,784,081千円

- ・屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理（PFI事業）に係る事業者への対価
- 【事業期間】令和5年度～令和23年度
- 【総事業費】24,252,139千円

施設メインプールイメージ



〔事業スケジュール〕



(2) PFI事業のモニタリング 17,795千円

- ・PFI事業における建設工事の実施状況や、事業者の経営状況のモニタリングを適正に行うため、専門的な知識、ノウハウ、経験等を有するコンサルタントに支援業務を委託

施設外観イメージ



川口市神根運動場及び神根公園に整備

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

スポーツ科学拠点施設を整備し、パラスポーツ・デフスポーツを含む多様な競技力の向上につなげるとともに、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進、上尾運動公園の賑わいの創出を図る。

事業概要

1 スポーツ科学拠点施設整備運営事業

66,602千円

(1) 「競技力向上施設と体育館」の整備に係る業務委託 37,180千円

事業の円滑な実施を図るため、令和9年度の公募実施に向け必要となる要求水準書の作成などを行うに当たり、専門的な知識・経験等を有する事業者にはアドバイザー業務を委託

〔事業スケジュール〕

令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度 令和12年度 令和13年度 令和14年度～

入札説明書、
要求水準書等
作成

公募

設計・建設

開設

運営・
維持管理

競技力向上施設のイメージ



写真提供：(公財)栃木県スポーツ協会

(2) 「競技力向上施設と体育館以外の施設」の整備に係る業務委託 28,248千円

「競技力向上施設と体育館以外の施設」の整備に向け、事業区域のゾーニング（区画分割・園路の配置等）について検討を行うに当たり、専門的な知識・経験等を有する事業者にはアドバイザー業務を委託

(3) スポーツ科学拠点施設の整備に向けた検討・推進 1,174千円

スポーツ科学拠点施設の円滑な整備のため、先行事例の調査等を実施